

専修大学LLだより

目次

特集 語学学習のすすめ

新しい発見を求めて	2
新入生へのメッセージ：はじめるあなたへ（文学部 田邊祐司）	3
ロシア語のすすめ（経済学部 宮下誠一郎）	3
ヨーロッパ言語地図（経済学部 寺尾 格）	4
「コリア語」とは？（文学部 田中正敬）	4
インドネシア語のすすめ（商学部 佐々木信子）	5
フランス語を使いこなす（文学部 樋口 淳）	5
スペイン語のすすめ（経営学部 大森洋子）	
中国語のすすめ（文学部 松原 朗）	6
LL 教室機器操作講習会のお知らせ / LL 研究室主催行事のお知らせ	7
LL インフォメーション	8
（新着教材 / LL ガイダンスのお知らせ / LL 自習室利用時間のお知らせ）	



LL 研究室

新しい発見を求めて



桜の花も満開で、新しいことをはじめるのにふさわしい時機がやってまいりました。様々な形で、新生活のスタートを切った方も多いかと思えます。新入生はこれからの4年間を様々なことにトライして悔いのないものにしてほしいものです。そして、在校生の方々は今までを振り返ってみてうまく出来なかったことに新たな気持ちで挑戦してみたいかがでしょうか。

皆さんの中には、外国語の力をつけたいと考えている人も多いことでしょう。でも、時間割を見ると、以外に外国語を学ぶチャンスが少なくなっていることに気がつくことと思えます。少し発想を変えてみましょう。外国語は自分から学んでいくものです。授業活動は外国語学習のほんの一部であることを認識してほしいと思えます。自分なりの外国語学習のプランを作ってみましょう。そうして、それを様々な形で実践させてみましょう。LL 研究室のテーブルライブラリーと自習室はそんなチャンスを実現するためのスペースと言えます。色々な教材をそろえて様々な学習目的に対応しています。でも、もし学習目的が何であるか分からないなら、研究室の語学相談スタッフに相談してみましょう。話をしていくうちに何のために勉強するかが見えてくると思えます。そうすればもう大丈夫でしょう。自分から勉強していこうという意欲も自然と出てくるはずで、学習目的はきちんとあるのに勉強の仕方がわからなくて... という人もいることでしょう。そんな場合も

語学相談スタッフはお手伝いできると思います。いつでも LL テーブルライブラリーのスタッフに声をかけてください。また、もう自分に合った教材を見つけてそれで勉強されている人もいるでしょう。そんな場合にはその教材を持ち込んで勉強できます。外国語を耳で聞いて、それを実際に声に出して練習できるスペースは LL 自習室の他にはありません。

LL 自習室にはパソコンが備えられており、様々な CD-ROM 教材を用いて勉強することも出来ます。どうも英語の勉強は苦手... という方も、ゲーム感覚で出来る教材等を見つけて勉強してみましょう。外国語の勉強は継続が第1です。就職や留学のために必要になったからといってすぐに上達するものではありません。毎日、いやそれが無理でも1週間の時間割の中から1時間か2時間の空き時間を利用して、こつこつと勉強していきましょう... 後には大きな成果となっていることでしょう。

最後に、LL 教室にはテープ、ビデオ教材といった音声教材だけではありません。英字新聞や英語で書かれた記事を掲載した雑誌等もあります。日本の新聞やテレビで話題になった記事を英語で読みながら、語彙を増やしていくことも可能です。自分の好きな話題なら楽しく読めると思えます。

自分のアイデアで色々な利用が出来るのが LL 教室の自習室及びテーブルライブラリーです。今後 LL 研究室では、学生諸君が自分の学習方法を発見するためのお手伝い等を積極的に支援していこうと考えています。皆さんからの意見等もどんどん頂いて、使いやすい外国語学習スペースを目指していきます。さあ、一緒に始めましょう。

LL 研究室長 大森 洋子 (経営学部)



英語習得の鍵はあなた自身の「心」にあります。特に、目標とすることは生き残るための手段ではない場合には、あなたの「思いの深さ」こそが、

その成否を左右します。

まずは発想の転換を。高校まで英語は教科の一部でしたが、今度は自分のための学習です。将来の進路に応じて、英語の到達目標、内容、方法は大きく変わります。

将来がおぼろげながら見えたら、計画の立案、教材の選択、方法の模索です。先人・達人の本を読み、インターネットを活用しましょう。集まった情報から、自分に合った計画を立て、教材を探し、方法を探ります。この段階で自分が目標とするあこがれ (Role Model) を見つけると、一層のはずみが見つきます。

はじめたものの続かないのが人間です。「Portfolio」と呼ばれる「自律学習支援ファイル」を作りませんか？その中に情報を整理し、計画帳＋日記のように使うのです。学習過程では「学習仲間作り」も不可欠。お互いに協力しながら、励まし合う仲間は大きな支えです。それから、進捗状況を客観的に把握し、学習へフィードバックする作業も大切。資格試験はその方途です。

英語学習は自販機とは違います。製品はone pushでは出てきません。我慢強く、自分の「心」を信じて、その「心」を「体」に伝え続けたある日突然、英語という新たな製品は出てきます。自分を、そしてその日を信じて、さあ、一緒にはじめようではありませんか。

文学部 田邊 祐司 (英語)

教務課の窓口でこんな会話を小耳にはさんだことがある。多分、履修届の時期だったのだろう。

「第2外国語はどうする」

「ドイツ語は冠詞や代名詞の格変化がややこしいぜ」

「それならフランス語にするか」

フランス語を履修した学生は、フランス語動詞の変化の複雑さに、あとで目を白黒させたことだろう。

ロシア語の語形変化はドイツ語やフランス語よりももっと込み入っていて複雑だ。何しろ名詞の格変化がドイツ語より多く6つもあり、「生格」だの「造格」だの聞いたことのないようなものがあり、それを修飾する形容詞などが6つの格に合わせて変化するといった念の入れようだ。動詞も完了体と不完了体とにすべて分かれていて、役割が異なり、いわば2倍の数の動詞を覚えなくてはならない。

最初は誰もがちょっと辟易する。でも、ものは考えようだ。ドイツ語は理論的であること、フランス語は明晰であることを誇りとしているが、その理由は語形変化があ

るために文の構造に曖昧さがなく、聞く人、読む人に誤解を与えることが少ないという点にある。その意味で、ロシア語はじつに明快な言語なのである。それに表現可能性がとても豊かな言語だ。苦あれば楽あり。願わくば、語形変化を乗り越え、景観に富むロシア語世界に遊ばれんことを。



経済学部 宮下 誠一郎 (ロシアの経済)

ヨーロッパ言語地図

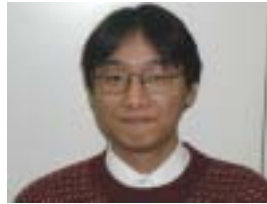
ドイツ語一年生の授業では、最初にちょっとした言語地図遊びをする。学生諸君の名前と顔を一致させながら、順番にヨーロッパの言語名をあげてもらおう。英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語と快調に続くが、オランダ語、ロシア語、ギリシャ語あたりからパスをする人が出てくる。必ず中国語と答える学生も出て来るので、「ヨーロッパ!」と繰り返すと、デンマーク語、スウェーデン語、ポーランド語、チェコ語のあたりで自信無さげになり、苦し紛れにラテン語(これはイタリア古語)やスイス語(そんなものは無い!)なども出てくる。

彼らにとっての「ヨーロッパ」とは、何よりも圧倒的に「西欧」であって、「北欧」はひどく印象が薄く、「東欧」に至っては殆ど存在しないがごとくである。ヨーロッパ=西欧という学生諸君および大部分の日本人の強固な図式と思いつ込みは、情報というものの危うさを十分に示すものだろう。対してアメリカについては、ヒットチャートを始めとして、殆ど過剰なほど直接に入ってくる。要するに我々の情報は、圧倒的にアメリカ経由であるという一面性の自覚は常に持っておいた方がよい。

そこで簡単なシミュレーションである。仮に英語を全く知らないとしよう。日本語だけで作られた世界とはどのようなものだろうか? 続いてこうも考えてみよう。日本の中で、日本語の知識無しに、英語だけで暮らしてみたらどうだろうか?

どちらの場合も、それなりに楽しく暮らすことはできるかもしれない。しかしその日常生活が、ひどく限られた表面的なものでしかないことは、たやすく理解できると思う。外国=アメリカと思うほどナイーブな学生も少ないと思われるが、言葉を学ぶと世界が広がるというのは、単なる知識がやみくもに増えるというよりも、むしろ学ぶにつれて、それまでの自分の世界の狭さと限界がおのずと自覚されて来るところに含蓄があり、それが学問の深さ、果てしなさ、おもしろさにもつながって行くのだ。ドイツ語を学ぶことは、ヨーロッパを理解するためのきっかけとなるのみならず、自分自身の偏見へのより深い反省を産み出すのでなければ、肝心な所を捕らえ損ねてしまうのである。

「コリア語」とは?



近年、今年のワールドカップの開催に向けて、日本と韓国との交流が以前にもまして活発になりつつあります。

テレビでは、韓国の様子をたびたび紹介していますし、日本でもキムチを始めとした韓国の食材が店頭に並ぶことが普通になってきています。

私たちがそうしたものを目にする際に必ず飛び込んでくるのが、いわゆる「ハングル」という独特の文字です。この文字は、朝鮮王朝(李朝)時代の1443年、それまで漢字を利用した表記が行われていたものを、母音と子音それぞれの記号を作り、これを組み合わせて表記するようにしたものです。アルファベットの母音と子音を漢字のように「へん」と「つくり」で構成したようなものと言った方がわかりやすいかもしれません。一見すると難しいのですが、その記号に対応する発音を覚えてしまえば、だいたいの文章を音読することは可能です(細かい例外規定はありません)。

コリア語は、文法的にはかなり日本語と似ています。語順は日本語とほとんど変わりませんし、助詞・動詞の活用・尊敬表現があることなども日本語と似ているので、その意味では、私たちが学習しやすい言語であることは間違いありません。

今後、日本と朝鮮との交流はより深まっていくことでしょう。この二つの地域の間には主として近代史に関わる困難な問題があり、いまだ解決されてはいませんが、そうした問題も含めて私たちが朝鮮を理解しようとする時、きっとコリア語は役に立つと思います。みなさんがコリア語を通じてその交流の中心となっていくこと、また朝鮮の文化や歴史に関心を持たれることを期待しています。

文学部 田中 正敬（朝鮮史）

インドネシア語のすすめ



インドネシア語
がどういう言語で
あるかは、新入生
は「外国語をまな
ぶために」のしお
り、また講義要項

を読んでお分かりでしょう。第二外国語としてのインドネシア語では、私大の中で本学はそのパイオニア的な存在です。

本年度はLL教室を使いませんが、豊富な資料、最新の設備を積極的に活用しましょう。6月初めには、「インターネットを使ったインドネシア語の授業」を実施します。コンピューター向きのインドネシア語は、その利用によって飛躍的な情報を得ることができます。

テーブルブラリーには、テキスト(テープ、CD)、辞書、インドネシア語検定の過去問題集、インドネシア語受講生の「インドネシア語文集」を備えています。

また、自習室では、「専修大学インドネシア語クラス」のホームページを出発点として、数多くのインドネシア語、インドネシア関連サイトに飛ぶことができ、自発的な学習によって、効果的なインドネシア語習得ができます。たとえば、Radio Japanの日本語とインドネシア語放送を聞いて、ヒヤリング力をつけることができます。

LL教室を活用して、検定試験、また春期インドネシア語研修にも参加しましょう。ただの第二外国語でないインドネシア語の世界がこの大学には待っています。

Sedia payung sebelum hujan.(雨の前に傘を用意せよ=備えあれば憂いなし)

<参考><http://www.sainet.or.jp/~npsasaki/newpage1.html>

商学部 佐々木 信子(インドネシア語)

フランス語を使いこなす



ジャン・レ
ノとヒロスエ
の「ワサビ」
を見ました。
フランス語っ
て、めんどろ

な言葉だと思っていたけれど、けっこうお手軽にいけそうですね。たった2ヶ月の特訓で話せちゃうなんて、どんな手品があるのかしら。

ヒロスエの発音は、けっこうイケテルというのが、率直な感想です。でも、面白かったのはRの発音をジャン・レノが教えるところです。あの音は、やっぱりヤッカイなのかなあ。どこの国の言葉にも、難所というのがあるものです。たとえば、フランス人は「は行」の音が発音できない。だから「ヘビ」と「エビ」の区別ができない。これって、けっこうスゴイでしょ。そのうえ「オーバーサン」と「オバサン」「オジーサン」と「オジサン」の区別ができなきゃ、「やめときな」っていいなくなりますよね。

でも、言葉を身につける、使いこなすには、こういう些細なことにこだわらない、ズブトイ神経が必要なのかも。ヒロスエなんか、いやあよくやるよってカンジ。その場しのぎの間に合わせも、あそこまでいくと上出来です。でも、みなさん、実はフランス語はけっこう大変です。ほんとうに「使いこなす」には、時間をかける!! それっきゃないって! CALLを使って、自習をしましょう。時間さえかければ、なんとかなる。仏検とか、留学とか目標をたてて、がんばりましょう。かならず、上達します。

ヒロスエも、ジャン・レノとタメグチをきくために、2ヶ月間、ほんとうにガンバって自習したと思います。ヒロスエは、エライ!!

文学部 樋口 淳(フランス語)

スペイン語のすすめ

アルディージャ, セレーソ, アビスパ...
どんな意味か考えたことがありますか。

サッカーチームの名前ですが, スペイン語からとっています。Ardilla, cerezo, avispa それぞれリス, 桜(の木), スズメバチ, を表わす語なのです。今まで言葉から来るイメージと合っていたでしょうか。

そう, 外国語を勉強することは新しい視点を増やすことにほかなりません。今までは日本語の響きからのみ考えていた語の本来の意味を知ることによって見方が変わったのではないのでしょうか。スペイン語は音の組み合わせが日本語ととても似ているために, 様々な分野で日本語の中に入り込んでいます。新しい発見を求めてスペイン語をはじめて見ませんか。スペイン語には結構規則性があります。発音, アクセントも, そして動詞の活用も... その規則性を発見できたら, どんどん上達していく言語と言えるでしょう。最初は大変かもしれませんが, 基礎をしっかりとさせて, どんな規則性があるのか発見するのも楽しいと思います。そうすると英語もまた異なって見えてくることでしょう。2002年ワールドカップも間近, メキシコ, アルゼンチン, パラグアイ, エクアドルのサポーターの人たちと簡単な会話が出来たら楽しいと思いませんか。印象もずいぶん違うと思います。

経営学部 大森 洋子(スペイン語)



中国語のすすめ

諸君には, 専修大学でぜひ中国語を学んでもらいたい。

第一に, 中国語に関心のある諸君は, いまや経済大国となる約束を取り付け, 「世界の工場」となりつつある中国に関心を持っていることだろう。これまでといえば格安の衣料で知られた中国も, 近い将来, 高度な情報機器をも輸出する手強い技術大国として日本の前に立ち現れるだろう。その中国をより深く理解しようと思うならば, 諸君にとって中国語の学習は不可欠である。

第二に, それでいて諸君は, 中国がもはや「中国的慣行」によってがんじがらめになった分りにくい特殊な地域ではなく, 世界に向かって開かれた地域になりつつあることも実感している。中国が昨年, WTOに加盟したことは, その流れを加速するであろう。アメリカが旗を振る「市場原理」の中に取り込まれ, 中国はいわばアメリカと地続きの「一つの大陸」となるかもしれない。そうすれば, 「典型的な中国的慣行 = 中国語」にわざわざ頼る必要はなく, 英語さえできれば十分に用が足りると考えることもできる。無論いうまでもなく上記の二点は, いずれも一面の真理でありつつ, かつ互いに矛盾する関係にある。

大学生である諸君が, これから中国語の学習を深めようとするならば, つぎの第三点を十分に承知する必要がある。市場原理と, 英語とドルによる世界の一元化が進行するように見えながらも, 人間の価値観は, 実はそう簡単に調和したり, 一元化するものではない。むしろ一時的には, 価値観の先鋭な対立が生ずることも予想しなければならない。9月11日の同時多発テロ以後の, アメリカの愛国主義の高揚を見よ! アメリカは, 理性をもって, 歴史的で地域的でそれゆえに不合理な慣行を克服し, かくして「近代 = 合理性の権化」をもって自任する国である。そのアメリカにして, なおも理性とは由来を異にする自己愛に陶醉している。人間心理の深層に潜む「自己愛 = 愛国主義・民族主義」を掘り崩すことは難しいようである。そして中国も, 最近十年の高度経済成長を経て, 大国意識を十分に育てている。2月22日に清華大学を訪問して「自由」というアメリカの価値を誇らかに語ったブッシュ大統領に対して, 学生は臆することなく中国にはアメリカとは

異なる価値の観念があることを主張して、譲ろうとはしなかった。経済的発展の裏付けを手にした中国は、久しぶりに(阿片戦争から160年)、自己(民族・国家)の価値観を、世界に向かって強力に主張することになるであろう。諸君がこれから生きてゆく時代は、何が正義かをめぐって、多様な価値観が、政治と経済を巻き込んで衝突する時代となる。その一つの核となるのは、間違いなく中国である。その時その間におかれて、諸君はどの様に自己を振る舞わせるつもりなのか？

中国語を学ぶことは、中国に固有の価値観を理解するために不可欠の前提である。そして価値観に関わる国際問題をリアルに考えるときに、最も本質的な手掛かりを提供することになるだろう。

文学部 松原 朗(中国語)

LL 教室機器操作講習会のお知らせ

LL 教室機器操作の講習会を下記日程で開催します。LL 教室を使用した授業を履修しようとしている人、またはどうしようかと悩んでいる人は是非この講習会に参加し、参考として下さい。

この講習会は強制ではありませんが、授業にスムーズに入っていくためにも受講をお勧めします。

また、下記日程でどうしても出席できず、受講を希望する人は、LL 事務室窓口(神田校舎学生は自習室受付)へ申し出て下さい。相談に応じます。

場所	日程	時間
生田	4月6日(土)	16:00~16:30
	4月9日(火)	10:00~10:30
		14:00~14:30
神田	4月2日(火)	15:00~15:30
	4月9日(火)	11:00~11:30
	4月10日(水)	16:00~16:30

LL 研究室主催行事のお知らせ

LL 研究室では下記のようなサービスを行い、語学を習得しようとしている人たちを応援しています。活用して下さい。

語学学習相談

英語・ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・日本語の本学専任教員による語学学習相談を実施しています。昨年は、各検定試験を受ける為の効果的な勉強方法を教えて欲しいという相談が多かったようです。勉強方法、教材の選択、留学について等々。相談内容を自分なりに整理してからご相談下さい。詳細については、LL 事務室(神田はLL自習室)スタッフに問い合わせ下さい。

各セミナー

各言語の語学習得に関する事や、検定に関する事などからテーマを絞り、教員による短時間のセミナーを実施していく予定です。詳細は掲示でお知らせします。

LL だより発行

年に4回LL だよりを発行しています。LL だよりは毎回テーマを設け、語学学習に役立つ情報、教員からのアドバイス、学生からの声などを掲載しています。また、LL 教室・自習室利用に関するお知らせや新着教材の紹介なども掲載しています。

LL だよりはLL 事務室、LL 自習室、国際交流課、図書課などに置いてあります。自由にお取り下さい。



LL 教室・自習室、または教材についての要望・意見をお待ちしています。窓口スタッフ、またはアンケート用紙に記入してください。

LLインフォメーション

新着教材

LL テープライブラリーに備えてある教材で、新しく入荷した教材の内容をお知らせします。

World Talk シリーズ

【英語・ドイツ語・スペイン語・フランス語・中国語】
簡単な単語のヒアリングや挨拶は出来る様になったけれども、まだ長い文章のヒアリングは苦手という方の為の中級者向け語学学習CD-ROM教材です。

初級者向けの「World Now」シリーズも各言語揃っています。

Ally Mcbeal【英語】

NHKで放送中のアメリカの人気TVドラマ「アリー・マイ・ラブ」のDVD版です。主人公はボストンの法律事務所働くファッションナブルでキュートな女性弁護士アリー。アリーを中心に、彼女の勤める法律事務所に揃ったすご腕の弁護士達が珍事件を連発。セリフには、法律的専門用語も使われているので、法学部の学生にもお勧めです。

バタオネのちよばちよば インドネシア語2

【インドネシア語】

インドネシア語の基礎を既に習得し、更なる上達を目指す方の為の教材。「ちよば1」で同じみのキャストが登場。楽しく学べます。7月の検定試験に是非、役立てて下さい。

LLガイダンスのお知らせ(生田校舎)

4月6日(土)13:30から生田校舎において新入生対象に「LL教室を使用した授業履修希望者へのガイダンス」を行います。新入生は勿論のこと、2年次生以上でLL教室使用の授業を初めて履修しようと考えている人も参加できます。また、LL教室見学も下記日時で実施しています。自由に参加して下さい。

LLガイダンス教室

経済学部	331 教室
法学部	332 教室
経営学部・ネットワーク情報学部	341 教室
商学部	342 教室
文学部	231 教室

LL教室見学

4月6日(土) 14:30~16:00
(上記日程以外にも随時受け付けます)

LL 自習室利用時間のお知らせ

平成 14 年度授業期間における自習室利用時間をお知らせします。

生田校舎

月~木曜日	9:00~17:45
金曜日	9:00~16:45
土曜日	9:00~11:45

神田校舎

平日	9:00~20:45
土曜日	9:00~12:00 13:00~18:45



編集後記

今号は教養科目で外国語を教えている先生や、歴史にせよ現状分析にしる何らかのかたちで外国事情に関係する専門科目を教えている先生方に、それぞれの外国語のすすめを書いてもらいました。よく読んで履修の参考にして下さい。(ほ)

皆さんからの声をお待ちしています

専修大学LLだより 第14号

発行日 2002年4月1日
(平成14年)

編集発行 専修大学LL研究室
室長 大森 洋子

〒214-8580 神奈川県川崎市多摩区東三田2-1-1

URL: <http://www.gkk.senshu-u.ac.jp>